

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	白石町立有明中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上では、校内研テーマ「主体的な教育活動の在り方」に伴い、授業方法の改善に取り組んできた。生徒・職員ともに改善の効果を生徒の活動の様子やアンケートの結果から実感している。今後も継続して取り組むことで、子どもたちが充実感や、達成感を味わい、深い学びへとつながっていくと考える。</li> <li>・心の教育では、いじめの早期発見・早期対応のために体制の充実を図ってきた。また、アンケートの結果から、生徒の学校生活の充実度は高い。反面、不登校の生徒数が多いことから、教育相談との連携を充実させ、個別の支援に継続して取り組んでいく。</li> <li>・「志」を育む教育の推進では、アンケートの結果から、学年が上がるにつれて夢を持っている生徒の割合が高くなっていることから、継続的な取り組みの効果があると考えられる。今後はさらにキャリアパスポートの活用を充実させていく。</li> <li>・業務改善・働き方改革では、研修会や業務の振り回りを継続して行ったことで、時間外勤務時間の削減につながった。アンケートの結果では83%の職員がその効果を実感している。しかし、改善の余地はまだあり、今後も継続して取り組んでいく。</li> </ul>
------------------	--

2 学校教育目標	志をもち、自ら学び、共に高め合い、逞しく生き抜く生徒の育成
----------	-------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>1 「志」を育む教育の推進</p> <p>2 「主体的、対話的で深い学びの実現」を目指した学力向上の推進</p> <p>3 集団の中で思いやりの心を育み、自己肯定感を高める心の教育の充実</p> <p>4 生徒指導と生徒活動を両輪とした活気ある学校づくり</p> <p>5 特別支援教育と教育相談の充実による安全・安心で居場所のある学校づくり</p> <p>6 学校・家庭・地域・小学校との連携を大切に「地域とともにある学校づくり」</p> <p>7 通ってよかった、通わせてよかった、動めてよかったと思う有中の実現</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
				●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全職員による共通理解と共通実践</li> <li>○「主体的、対話的な深い学び」を通じた学力向上の推進(学校独自重点取組・任意)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師の割合を65%以上にする。</li> <li>○「主体的、対話的な深い学び」に関するアンケートに肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>○「生徒の主体性を育む」という視点で授業づくりを見直すことができたと答える教員の割合が90%以上となることを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修等で、マイプランの確認と取組の促進を図る。</li> <li>・教科ごとのアンケートを継続して実施する。</li> <li>・校内研究会での活動を中心に、「主体性を育む」ための発問の仕方や活動のさせ方などに関する情報を共有し、日々の授業に生かす。</li> </ul>
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</li> <li>●いじめの早期発見、早期対応体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>○全ての職員が道徳の授業を実施する。</li> <li>○「自分の困りごとや悩みなどについて、相談できる先生がいる。」という問いに「そう思う」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>○授業づくりや学級づくりに関して「支持的風土の醸成に力を尽くしている」と答える教員の割合が100%となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期ごとに道徳の授業に関するアンケート(振り返りシート)を実施する。</li> <li>・職員室に道徳コーナーを設置し、授業の充実を図る。</li> <li>・学年の教師全員で道徳の授業に取り組む。</li> <li>・学校生活アンケートを定期的に行い、学年、学校で情報共有をすることで、複数の職員で多面的、多角的に生徒の支援をする。</li> <li>・問題を一人で抱えることがないように、集会や教育相談の際に、相談をすることについての啓発を行う。</li> <li>・1事案、複数名対応、他学年からの応援を積極的に実施する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間を通して、学年全体で道徳の授業を行うことが出来た。</li> <li>・学年を通して単元の進め具合などの共通認識を行うことができた。</li> <li>・「道徳の授業の題材について深く考えることができた」という問いに「とてもそう思う」が44.3%、「だいたいそう思う」が48.9%であり、概ね達成することができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の授業を通して、深く考えることができた生徒が多数であり、継続して取り組んでもらいたい。自身の人間の多様性に道徳を学ぶ本質があるのではないかとと思われる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒指導と生徒活動を両輪とした活気ある学校づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校生活が楽しく充実している」という問いに「そう思う」と答える生徒の割合を90%以上にする</li> <li>○学校行事や学級活動で「主体的に取り組んでいる」という問いに、そう思うと答える生徒の割合を80%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に出番と役割を与え、それを承認する「開発的生徒指導」の充実をさせる</li> <li>・生徒の自治意識を高め、主体的によりよい学校づくりに参画するための生徒活動の充実をさせる</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校生活が楽しく充実している」という問いに「そう思う」と答える生徒の割合を92.6%となり、多くの生徒が充実した生活を送ることができていた。</li> <li>・学校行事や学級活動で「主体的に取り組んでいる」という問いに、そう思うと答える生徒の割合を96%となり、主体的な活動をすることができる生徒が増加した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の主体的な取組の結果が、学校生活の充実につながっているとと思われる。今後も継続して取り組んでもらうとともに、生徒たちが新しいことに挑戦できる活気ある学校を目指してもらいたい。</li> </ul>
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「望ましい生活習慣の形成」生徒が生活習慣の大切さを知り、それが自分自身の将来につながることを理解して生活習慣を正そうとする気持ちを持たせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前年度との比較「就寝時間11時以降48%」「起床時間7時以降12%」「朝ごはん食べない10%」「テレビゲーム視聴時間平日3時間以上26%」「今の状態元気が以外の回答41%」が改善できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の保健指導、個別の保健指導を取り入れ、生活習慣の改善で得られるものについて考えさせる。</li> <li>・保健体育の授業で体の成長と生活習慣が繋がっていることをしっかり教える。</li> <li>・食育の授業を取り入れ食の大切さについて考える時間を持つ。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食についての保護者アンケートでは「朝食を食べている」が90.7%であった。日々の声かけの中や保健だよりでも朝食の大切さについて話をした。</li> <li>・電子機器の使用時間について64%の保護者が制限をかけているとの回答があった。生徒の使用時間は少し改善を見せている。生徒が元気に登校していることと答えた保護者は90%いた。生徒自身のアンケート回答では69%と意識の差があった。電子機器の使用と生徒が元気に登校しているかについては来年度の課題である。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心と体の健康は人生の中で、様々なことにチャレンジしていく上で最も大切なこと。健康教育にも重きを置いた教育を望む。電子機器の使用制限も必要だが、使い方を親子で話せたら良いと思う。</li> </ul>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</li> <li>○メンタルヘルス不全の職員を出さない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の業務内容の見直しを行い、業務改善を図る。業務改善のための話し合いの場を設定する。</li> <li>・アンケートや出欠確認票等では、ICTを積極的に活用し、業務の改善を図る。また、アンケートの結果から、次年度に向け取組の見直しを行う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の業務記録を分析し、時間外在校時間の多い場合は全体・個別に話をしながら改善に取り組んだ。アンケートでは90%の職員が、業務改善が回られていると回答している。今後も継続的に取り組んでいく。</li> <li>・ICTを積極的に利活用し、業務の効率化に取り組んだ。アンケートでは90%の職員がICTを利活用し業務改善に取り組んだと答えている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方が心と体が健康でこそ、生徒の様々な変化にも気づき、関わる事ができる。そのことが生徒にとって、学校が安心感のある居場所となると思う。継続して取り組んでもらいたい。</li> </ul>

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
				○「志」を育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を見通したキャリア教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○将来の夢や目標を持っている生徒の割合を85%以上にする。</li> <li>○授業づくりや学級づくりの中で、キャリア教育を充実させていると答える教員を90%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育を充実させることによって、生徒が主体的に「自らの生き方」を考え進路決定できるようにする。</li> <li>・系統的なキャリア教育の立案とキャリアパスポートを活用したキャリア教育の実施。</li> </ul>
○特別支援教育と教育相談の充実による安全・安心で居場所のある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒一人一人の特性や個性に応じた共通理解と組織的な支援</li> <li>○外部機関との連携を図った組織的な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校生活が楽しく充実している」と感じる生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>○生徒一人一人の特性に応じた指導の工夫改善に努めている教員を90%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回教育相談部会を行い、生徒の情報交換と支援の手立てを話し合い、職員へ提案する。</li> <li>・月に1回は、特別支援学級所属の生徒についての情報交換及び支援の方法を確認し、共通理解のもと学習支援を行う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケートでは、8割以上の生徒が「先生方は相談に乗ってくれる」と回答しており、とてもそう思う生徒も増えた。また、学校が楽しいと感じている生徒も多い。</li> <li>・生徒アンケートでは、9割以上の生徒が「先生方は一人一人に応じて、適切な支援してくれる」と回答しており、とてもそう思うと答えた生徒も4割以上である。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心感のある居場所があるということはとても大切なこと。学校生活に不応を起している生徒への対応において、SCなどの専門家に見立ててもらうことは大切。教育相談の充実も大切だと考える。</li> </ul>
○学校・家庭・地域・小学校との連携を大切に「地域とともにある学校づくり」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域貢献」「学校支援」「小中連携」「小中連携」の推進体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域・小学校・家庭との交流・奉仕活動等を通して、「充実した」、「学ぶことがあった」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>○学校たより、学校HP、フェイスブックなどで、学校の様子が分かることと答えている保護者を80%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学習において、地域の有識者の方を招くなどして、地域連携の構築を図る。</li> <li>・地域の活動や小学校の行事に参加したり、ボランティア活動に取り組んだりしていく中で、「地域貢献」「小中連携」等の構築を図る。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のアンケートでは「充実した」「学びがあった」と答えた生徒が約87%であり、地域との連携は教育的効果が高いことがわかる。さらに充実させていく必要がある。</li> <li>・保護者のアンケートの結果から、学校の様子がわかることと回答した方は75%であった。HPやフェイスブックの活用が十分でないので、来年度改善していきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で3年間は地域との連携を大切に「学校づくりが十分でない状況であったが、令和5年度開校に向けて地域とのつながりを大事にした取組ができることを願う。「子供は地域の宝」です。</li> </ul>

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</li> <li>・学力向上では、校内研究テーマ「生徒・教師で共に創り上げる 主体的な教育活動の在り方」に伴い、生徒の主体性を育むという視点で授業づくりの見直しを図った。アンケートの結果から、生徒・教師ともにその成果を感じ取ることができた。今後も継続して取り組むことで、さらに生徒の主体性が発揮され、学力の向上につながるかと考える。</li> <li>・心の教育では、道徳の充実、相談体制の整備、生徒指導と生徒活動を両輪とした活気ある学校づくりを目指してきた。生徒に出番と役割を与え、それを承認する「開発的生徒指導」の充実により、アンケートの結果から、多くの生徒が充実した学校生活を送ることができている。今後も継続して取り組んでいく。</li> <li>・「志」を育む教育の推進では、生徒が主体的に「自らの生き方」を考え進路決定できるように、キャリア教育の立案とキャリアパスポートを活用した授業の充実に取り組んだ。アンケートの結果から、キャリア教育の視点を取り入れた授業を展開しているものの、将来の夢や目標を持っている生徒の割合は、目標をやや下回った。今後は今まで以上にキャリアパスポートの活用を充実させていく。</li> <li>・学校・家庭・地域・小学校との連携を大切に「地域とともにある学校づくり」では、キャリア教育や小学校との連携において、アンケートの結果から「充実した」「学びがあった」と回答した生徒が多かった。しかし、学校全体としては、「地域との連携」の機会が少なく、今後は機会を増やしていく必要がある。また、学校の活動の様子を、保護者・地域等にHPやフェイスブック等を活用し広く伝えていきたい。</li> </ul>
----------------	---